

激動する世界情勢下の 中央アジア 日本にとっての重要性

中央アジア諸国（カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン）は、旧ソ連構成国としてロシアとの歴史的・経済的な深い結び付きを保ちつつ、中国とも隣接しており、経済面を中心にその影響力が増している。

また、トルコ系民族を多く擁し、イスラム文化圏の一角をなすなど、トルコ・中東諸国とのつながりもある。近年、国際情勢が大きく変化する中、ユーラシア大陸の結節点に位置する中央アジアの戦略的重要性は一層高まっている。日本は他国に先駆けて、2004年に「中央アジア+日本」対話の枠組みを立ち上げるなどしてこの地域との関係強化を進めてきた。本講演会では、日本外交における中央アジアの位置付けや、具体的な取組についてご紹介いただき、中央アジア諸国について、さらに日本にとっての中央アジアの重要性を知る機会としたい。

講師

松本 孝弘 氏

外務省欧州局中央アジア・コーカサス室主査

対談

松本 孝弘 氏 × 新井 洋史 教授

外務省欧州局中央アジア・コーカサス室 主査

新潟県立大学北東アジア研究所 教授

日時

令和8年 **12月8日(火)** 16:30~18:00

会場

新潟県立大学 commons 3号館2階 5205講義室

新潟市東区海老ヶ瀬471番地

Zoom ウェビナーでも視聴可

共催

外務省

後援

新潟県、新潟市、新潟県商工会議所連合会、新潟県商工会連合会、
新潟県経営者協会、新潟経済同友会、NHK新潟放送局、新潟日報社**申込方法**

会場、ウェビナーいずれも参加をご希望の方は、下記のウェブサイトアクセスし、
参加フォームに必要事項を記入してお申し込みください。

記入したメールアドレスに本学から招待メールをお送りします。

なお、Zoomのご利用方法についてはZoomの公式サイトをご覧ください。

<https://forms.gle/4b9Yuw9uKtgribRK6>FAX、E-mailからのお申し込み方法は裏面に記載 **[11月30日(月)締切]**問い
合わせ**新潟県立大学**
University of NIIGATA PREFECTURE**国際交流課**

〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬471番地

電話：025-368-8373 E-mail：gyoumu@unii.ac.jp

激動する世界情勢下の 中央アジア 日本にとっての重要性

■ 松本 孝弘 氏 略歴

2012年外務省入省。以降、総合外交政策局、欧州局、経済局、在キルギス日本大使館、在ウジノサハリンスク日本総領事館等において勤務。
現在、外務省欧州局中央アジア・コーカサス室にて中央アジア関連業務を担当。

■ 新井 洋史 教授 略歴

東京大学大学院工学系研究科修士課程修了（工学修士）。北海道大学大学院博士後期課程単位修得退学、博士（学術）。
新潟県庁、環日本海経済研究所主任研究員などを経て、2023年4月より本学教授として就任。

FAX or E-mail からのお申込

下の表に必要な事項を記入し、送信してください。

希望する参加方法に✓を入れてください。		☐ 会場参加	☐ ウェビナー視聴
ふりがな			
お名前 (ご所属)			
〒			
ご住所			
電話			
E-mail			
今後の催事のご案内を希望する場合は✓を入れてください。		☐ メールで案内を希望	☐ 郵送で案内を希望

※メールまたは郵送で案内を希望する場合は、上記の該当欄にご記入ください。

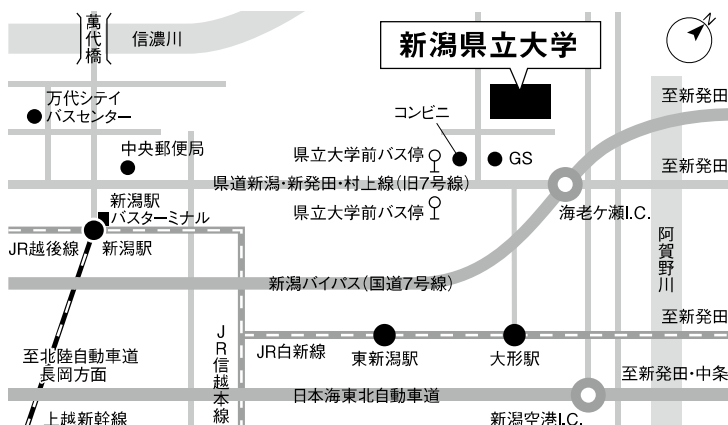
※ご記入いただいた個人情報は、講演会申込受付処理と今後の催事のご案内に利用します。

新潟県立大学国際交流課宛

F A X : 025-364-3610
E-mail : gyomu@unii.ac.jp

Access

新潟県立大学 周辺案内図



※駐車場に限りがありますので公共交通機関をご利用ください。

交通案内

- 新潟駅バスターミナル2番のりば
大形線「県立大学前」下車、徒歩3分
- ※津島屋行きに乗車の場合は「大形本町」下車、徒歩8分

キャンパスマップ



会場 コモンズ3号館2階 5205講義室